

令和7年度第1回静岡県摂食障害対策推進協議会

1 開催概要

日時：令和7年8月21日（木）午後6時から7時30分

方法：オンライン

2 議 題

- (1) 令和6年度摂食障害治療支援センター設置運営事業実施報告について
- (2) 令和7年度摂食障害治療支援センター設置運営事業実施計画について

3 内容

議題1 令和6年度事業実績報告

(1) 相談支援業務・治療件数の状況

- ・ 昨年度新規相談は177件で前年度と横ばいの状況
- ・ 事業開始から約5年間は相談件数が増加し、コロナ期間中も増加したが、収束後は一旦下がり横ばいとなっている
- ・ 県内相談が4分の3、県外（主に愛知県東部）が4分の1という一定の割合を維持している
- ・ 相談者年齢は10代が4割強を占め、初発患者の割合が中心になってきており事業効果が現れている
- ・ 拠点病院での初診は63件で、外来初診枠に応じた例年並みの数となっている

(2) 協力病院の診療状況と研修・普及啓発活動

- ・ こころ医療センター、藤枝駿府病院、箱根病院で初診・入院患者数が増加傾向にある
- ・ 聖隷三方原病院は総合診療内科閉鎖の影響で身体合併症の重い患者への対応が難しく、減少している。
- ・ 家族支援として静岡市・浜松市の精神保健福祉センターと連携した家族教室・交流会を実施
- ・ 県外拠点病院への研修支援、マンデークラブでの勉強会、産業医研修会等を開催
- ・ 浜松市医師会学校医研修会で摂食障害について講演し、県レベルでの普及啓発につながった

議題2 令和7年度事業計画

(1) 治療体制整備と研修計画の見直し

- ・ 東部地域の治療連携充実のための連携検討会を計画していたが、研修会・講演会形式への変更を検討。
- ・ 摂食障害の専門研修を受けたことがない診療所のドクターへの研修を計画予定。
- ・ 小児科と精神科の合同研修について、精神科医の参加が少ない現状を改善するため形式変更を検討。
- ・ 具体的には中学生の精神疾患診療と摂食障害のノウハウを二本立てで講演する形式を提案

(2) 普及啓発の強化と新たな取り組み

- ・ 摂食障害フォーラムは会場確保の関係で西部から中部（静岡市）に変更して実施
- ・ 他県拠点病院の事例を参考に、中学生のある特定の学年にパンフレットを配布する普及啓発を計画中。子どもたち自身が摂食障害について知る基盤を整備する
- ・ スクールカウンセラー・メンタルヘルスサポーター向け研修会を7月に実施済み
- ・ 高校保健授業での精神疾患学習（4時間）への普及啓発活用を検討
- ・ デジタル配信による効果的な情報提供方法の導入を教育委員会と協議中

その他 協力病院・関係機関からの意見交換

(1) 医療機関の診療状況と連携課題

- ・ 鷹岡病院から専門医・若手医師向けに対面研修だけでなくオンデマンド研修も要望
- ・ こころ医療センターから重篤な身体症状患者の診察は、勉強会を重ねていても難しい場合があるとの報告。
- ・ 県立こども病院では、こどもの市販薬乱用患者の急増で病床が圧迫され、摂食障害患者の受け入れが困難な状況であった。
- ・ 藤枝駿府病院では医師数減少で予約待ちが2ヶ月近くになり、地域病院との連携で断られるケースもある
- ・ 三方原病院ではBMI15以下の患者対応は慎重で、ある程度体重回復した患者の受け入れに重点を置いている。

(2) 地域支援体制と教育現場での取り組み

- ・ 小児科では ARFID 患者の増加を実感し、学校健診での早期発見体

制を整備している

- ・ 静岡市医師会で「基準」を策定し、適正な二次・三次健診ルートを確立（運用２年目）基準はやせだけでなく、肥満等も含めたもの。
- ・ 浜松市精神保健福祉センターでは、家族支援事業を継続し、救急隊への対応指導も検討している。
- ・ 当事者・家族から、パンフレット普及啓発を評価し、早期の適切な受診先案内の重要性を指摘する意見あり。

（３）診断別患者動向と ARFID 増加への対応

- ・ 昨年度初診患者の内訳で ARFID（回避制限性食物摂取症）が 17 人と全体の 4 分の 1 以上を占めている
- ・ AN（神経性やせ症）と ARFID で低体重患者の二大勢力となり、小学生低学年から男児の患者も多く低年齢化が進んでいる
- ・ 入院患者も AN6 割強、ARFID2 割弱の構成で、従来の摂食障害のイメージとは異なる状況になっている
- ・ ARFID と AN の患者同士は互いを別の患者として認識し、混在治療でも相互に影響を受けない興味深い現象がある
- ・ 9 月のマンデークラブで ARFID の CBT 治療について具体的な手法を紹介予定
- ・ ガイドラインには未掲載だが AFID のファーストライン治療として期待される内容を扱う

（４）今後の方針と次回開催について

- ・ 教育委員会では、現在 1 人 1 台タブレットが整備されており、デジタル配信による普及啓発が可能であり、保護者への情報提供も可能との情報提供。
- ・ 養護教諭研修会でポータルサイトを紹介し、学校現場での普及啓発を推進している
- ・ 今年度、障害者計画策定年として今回の意見を施策に反映させ、多職種連携環境整備を支援していく。
- ・ 摂食障害フォーラムの周知協力を各委員に依頼し、広報活動を強化する
- ・ 次回協議会は令和 8 年 1 月から 2 月を予定